

日出町告示第128号

平成30年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成30年11月26日

日出町長 本田 博文

1 期 日 平成30年12月4日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

河野 美華君	豊岡 健太君
安部 徹也君	川辺由美子君
衛藤 清隆君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
土田 亮治君	池田 淳子君
工藤 健次君	熊谷 健作君
佐藤 二郎君	森 昭人君

○12月6日に応招した議員

○12月7日に応招した議員

○12月20日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成30年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成30年12月4日(火曜日)

議事日程(第1号)

平成30年12月4日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告
- 日程第5 委員長報告
- 質疑・討論・採決
- 日程第6 議案第54号 平成30年度日出町一般会計補正予算(第3号)について
- 日程第7 議案第55号 平成30年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 日程第8 議案第56号 日出町行財政改革審議会条例の制定について
- 日程第9 議案第57号 日出町下水道事業の地方公営企業化に伴う関係条例の整備について
- 日程第10 議案第58号 各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- 日程第11 議案第59号 職員の給与に関する条例等の一部改正について
- 日程第12 議案第60号 日出町国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について
- 日程第13 議案第61号 日出町老人介護者手当支給条例の一部改正について
- 日程第14 議案第62号 日出町水道事業給水条例の一部改正について
- 日程第15 議案第63号 日出町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第64号 日出町の公の施設を大分市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第17 議案第65号 日出町の公の施設を別府市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第18 議案第66号 日出町の公の施設を臼杵市の住民が利用することに関する協議について

- 日程第19 議案第67号 日出町の公の施設を津久見市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第20 議案第68号 日出町の公の施設を竹田市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第21 議案第69号 日出町の公の施設を豊後大野市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第22 議案第70号 日出町の公の施設を由布市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第23 議案第71号 大分市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第24 議案第72号 別府市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第25 議案第73号 臼杵市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第26 議案第74号 津久見市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第27 議案第75号 竹田市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第28 議案第76号 豊後大野市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第29 議案第77号 由布市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第30 同意第5号 日出町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第31 報告第10号 工事委託に関する協定の変更について
- 提案理由の説明
- 散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告

- 日程第4 行政報告
- 日程第5 委員長報告
質疑・討論・採決
- 日程第6 議案第54号 平成30年度日出町一般会計補正予算（第3号）について
- 日程第7 議案第55号 平成30年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第8 議案第56号 日出町行財政改革審議会条例の制定について
- 日程第9 議案第57号 日出町下水道事業の地方公営企業化に伴う関係条例の整備について
- 日程第10 議案第58号 各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- 日程第11 議案第59号 職員の給与に関する条例等の一部改正について
- 日程第12 議案第60号 日出町国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について
- 日程第13 議案第61号 日出町老人介護者手当支給条例の一部改正について
- 日程第14 議案第62号 日出町水道事業給水条例の一部改正について
- 日程第15 議案第63号 日出町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第64号 日出町の公の施設を大分市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第17 議案第65号 日出町の公の施設を別府市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第18 議案第66号 日出町の公の施設を臼杵市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第19 議案第67号 日出町の公の施設を津久見市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第20 議案第68号 日出町の公の施設を竹田市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第21 議案第69号 日出町の公の施設を豊後大野市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第22 議案第70号 日出町の公の施設を由布市の住民が利用することに関する協議について
- 日程第23 議案第71号 大分市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について

- 日程第24 議案第72号 別府市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議
について
- 日程第25 議案第73号 臼杵市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議
について
- 日程第26 議案第74号 津久見市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協
議について
- 日程第27 議案第75号 竹田市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議
について
- 日程第28 議案第76号 豊後大野市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する
協議について
- 日程第29 議案第77号 由布市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議
について
- 日程第30 同意第5号 日出町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第31 報告第10号 工事委託に関する協定の変更について

提案理由の説明

散会の宣告

出席議員（16名）

1番	河野 美華君	2番	豊岡 健太君
3番	安部 徹也君	4番	川辺由美子君
5番	衛藤 清隆君	6番	阿部 真二君
7番	上野 満君	8番	金元 正生君
9番	川西 求一君	10番	岩尾 幸六君
11番	土田 亮治君	12番	池田 淳子君
13番	工藤 健次君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	森 昭人君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 井川 功一君

次長 工藤 明美君

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	本田 博文君	副町長	……………	目代 憲夫君
教育長	……………	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	…	土谷美香子君
総務課長	……………	藤本 英示君	財政課長	……………	白水 順一君
政策推進課長	……………	木付 達朗君	契約検査室長	……………	宇都宮正徳君
税務課長	……………	岡野 修二君	住民課長	……………	堀 雅之君
福祉対策課長	……………	阿部 孝君	子育て支援課長	……………	佐藤久美子君
健康増進課長	……………	利光 隆男君	生活環境課長	……………	岩尾 修一君
商工観光課長	……………	藤原 寛君	農林水産課長	……………	今宮 明君
都市建設課長	……………	松本 義明君	上下水道課長	……………	後藤 英樹君
教育委員会教育総務課長	…	帯刀 志朗君	教育委員会学校教育課長	…	小田 雅章君
生涯学習課長	……………	安田加津浩君	文化振興室長	……………	工藤 智弘君
監査事務局長	……………	西村 浩明君	総務課課長補佐	……………	河野 匡位君
財政課課長補佐	……………	梶原 新三君			

午前10時00分開会

○議長（森 昭人君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（森 昭人君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、平成30年第4回日出町議会定例会を開会いたします。

今期定例会に提案されています議案は、議案24件、同意1件、報告1件であります。

議員各位におかれましては、慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり、格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（森 昭人君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、4番、川辺由美子君、

12番、池田淳子君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（森 昭人君） 日程第2、会期の決定について議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、11月26日の議会運営委員会におきまして、本日から12月20日までの17日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月20日までの17日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（森 昭人君） 日程第3、諸般の報告を行います。

まず最初に、去る11月5日に開催された議員研修会について報告いたします。

大分県町村議会議長会主催で、県下3町1村の議員が一堂に会して開催された研修会では、講師に、大正大学地域構想研究所教授で総務省地域力創造アドバイザー会長、清水慎一氏をお招きし、「これからの観光づくり～町村の地域づくり、まちづくり～」と題して、講演をいただきました。

観光戦略の基本や地域独自の価値を見出す観光資源の開発、日本版DMOについて、成功例を示しながらお話ししていただき、今後の議会活動に大いに参考となる研修でありました。

続きまして、11月21日、東京のNHKホールで開催された第62回町村議会議長全国大会に、県内の町村議長とともに出席いたしましたので、その概要を報告いたします。

大会は、安倍晋三内閣総理大臣ほか、多数の閣僚、国会議員、官僚をお招きし、全国の町村議長ほか関係者など、約1,800人が出席のもと開催され、地方創生の実現を目指して、地方議会は一致結束し、さまざまな課題に対して果敢に行動する旨の、宮城県利府町議会議長、櫻井正人会長の挨拶、そして来賓祝辞の後、議事に入り、震災や豪雨災害の復旧・復興と大規模災害対策の確立など特別決議5件、道州制反対や町村財政の強化、一次産業の振興対策、少子高齢化・福祉対策の強化など、地方創生のさらなる推進のための多岐にわたる要望25件、全国各地ブロックごとの交通体系に関する要望9件を提案し、満場一致で採択されました。

大会終了後、ジャーナリストの手嶋龍一氏による「激動の21世紀をどう生き抜くか～中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟～」と題して特別講演があり、本当に充実した大会でありました。

詳細につきましては、全国町村議会議長会のホームページをごらんいただければと思っております。

次に、平成30年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、熊谷健作君に報告をお願いします。14番熊谷健作君。

○議員（14番 熊谷 健作君） それでは、去る11月6日に開催されました平成30年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を報告いたします。

別府市議会議場において、午前10時から本会議が開会され、今期上程いたしました議案は、決算議案の1議案でした。

議第8号平成29年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について、決算内容につきまして、一般会計は、予算現額11億945万9千円に対して、歳入歳出決算額は、ともに10億7,635万8,175円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額はゼロ円であります。

次に、秋草葬祭場事業特別会計は、予算現額1億1,565万6千円に対して、歳入決算額は1億1,387万4,885円、歳出決算額は1億241万5,885円であり、歳入歳出差し引き額は1,145万9千円で、翌年度へ繰り越す財源であるため、実質収支額はゼロ円であります。

次に、藤ヶ谷清掃センター事業特別会計は、予算現額12億1,767万3千円に対して、歳入歳出決算額はともに11億9,849万1,545円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額はゼロ円であります。

最後に、介護認定審査会事業特別会計については、予算現額2,706万9千円に対して、歳入歳出決算額はともに2,584万9,410円となっており、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額はゼロ円であります。

この議案につきましては、総務福祉委員会及び環境衛生委員会の各常任委員会の審査を経て、全員異議なく、原案のとおり認定されました。

以上で報告いたします。

○議長（森 昭人君） 次に、平成30年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合議会副議長、土田亮治君に報告をお願いします。11番土田亮治君。

○議員（11番 土田 亮治君） それでは報告いたします。

平成30年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会が平成30年11月30日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、議案1件、認定1件であります。

まず、議案第3号平成30年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正額は274万3千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億7,504万7千円とするもの

であります。この補正は、施設保全のための修繕料及び委託料であります。

次に、認定第1号平成29年度杵築速見環境浄化組合会計決算の認定についてであります。

歳入決算額2億4,659万9,375円に対し、歳出決算額2億4,385万4,639円であります。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた実質収支額は274万4,736円で、その金額を翌年度に繰り越すものであります。

また、監査委員から、予算執行、決算経理ともに適切に処理されている旨の決算審査報告がありました。

以上、上程されました議案1件、認定1件につきましては、審議の結果、全員一致で原案のとおり可決、認定されました。

これをもちまして、甚だ簡単ではございますが、平成30年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の報告を終わります。

○議長（森 昭人君） 以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（森 昭人君） 日程第4、行政報告を行います。

町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） おはようございます。

本日、平成30年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、御通知を申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多用のところ、御出席を賜り、御審議をいただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、平成30年度日出町総合防災訓練についてであります。

平成30年9月2日に、南海トラフ巨大地震により甚大な被害が発生したとの想定で総合防災訓練を実施しました。本訓練は、平成29年11月から多くの関係機関の参加を目標に調整を行い、訓練実施に向け取り組んでまいりました。その結果、国土交通省や陸上自衛隊など、14の関係機関と団体で2,459名の参加をいただき、無事終了することができました。

対策本部訓練のほか、映像伝送システムを使った現場中継、列車をとめての緊急停止・避難誘導訓練、孤立集落の救出訓練など、実践的な訓練を行ったところです。

また、各自治区が実施した一斉避難訓練では、ことし3月の訓練よりも多い44自治区の2,004名の方々に参加していただき、避難行動の確認を行うとともに、問題点や課題などの共通認識を持つことで防災意識を高める有意義な機会となりました。

多くの防災関係機関・団体の皆様の協力を得て、本部訓練及び実動訓練の両面にわたり実施で

きたことは極めて意義深く、御支援・御協力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。
るところでございます。

次に、9月8日からの3日間を主日程に県南ブロックを中心に実施されました第71回大分県民体育大会についてであります。

大会は、あいにくの雨になりましたが、参加した日出町の代表選手が各種競技で健闘した結果、昨年同様、総合順位10位、目標としていたB部を堅持することができました。団体競技では、ゲートボールが総合優勝、ライフル射撃、綱引き女子が2位の成績をおさめ、個人競技では、陸上男子1500mやライフル射撃、自転車競技で優勝を果たすなど、随所に活躍が見られたところでした。

来年度は、ラグビーワールドカップ開催の関係で県体は6月に実施が予定されておりますが、速見郡選手のさらなる躍進を期待しているところでございます。

次に、第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が10月6日から11月25日の51日間にわたり、県内全市町村で開催されました。

日出町では、10月6日に開催された世界のヒョウタン展と石の歴史講演会を皮切りに文化祭が開会いたしました。

10月21日には、「ザビエルの道ウォーキング大会」が行われ、416名の参加者がさわやかな秋風の中、心地よい汗を流しておりました。

11月4日に開かれた瀧廉太郎記念音楽祭は、東京オペラシンガーズやひじ場谷フラウエンコールが歌声を披露し、その美しいハーモニーに観客の皆さんは酔いしれておりました。

11月17日には、子ども文化の祭典が開催され、場谷駅前では、親子で楽しめるケロポンズのコンサートやハローキティとのグリーティングなどの屋外イベントに家族連れの方々が楽しい時間を過ごしておられました。

閉幕間近の11月23日には、フォークダンスの祭典を開催し、全国から多くの方々が日出町を訪れました。また、メキシコから招いた舞踊団が、大神小学校の5、6年生91人と交流したり、公民館ホールのステージでは、メキシコの民族舞踊が披露されました。

期間中、多くの事業に総勢2万3千人以上の方々が日出町の芸術・文化を堪能し、地元の方々を初め、県内外の多くの方々と交流を図ることができました。

次に、2018ひじ産業文化まつりについてであります。

11月3日、4日に、中央公民館を主会場として2018ひじ産業文化まつりを開催いたしました。

屋外会場では、県漁協日出支店、べっぴん日出農協の皆様のお協力をいただき、日出の新鮮な魚介を使った大鍋の無料配布や新鮮な野菜・海産物の即売コーナーを初め、多くの出展をいただき

ました。とりわけ、日出町と友好都市であります宮城県亘理町から遠路お越しいただき、御当地の名物であります「はらこめし」を販売していただきました。亘理町関係者の皆様の御尽力に感謝申し上げたいと思っております。

中央公民館ホールにおきましては、産業、文化振興に功績のあった個人2名と企業1社、子ども芸術文化奨励賞には6名の小中学生の表彰を行いました。

そのほか、中央体育館において、日出町文化協会の会員による芸術作品の展示など、2日間を通じ好天にも恵まれ、大変にぎわいのあるお祭りとすることができました。ひじ産業文化まつりの開催に携わっていただいた多くの関係者の皆様の御協力に感謝を申し上げます。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

文化の日の11月3日、役場の大会議室におきまして、日出町功労者表彰式を執り行いました。本年は地方自治、地域医療、保健福祉、交通安全、農業振興、そして水産振興等の各部門において、個人9名と1団体の方々へ表彰状と記念品を贈り、それぞれの分野での献身的な活動と町政の推進に貢献された御功績をたたえ、敬意と感謝の意をあらわしました。

次に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

11月27日、中央公民館におきまして、第13回日出町福祉健康推進大会を関係者約170名の出席のもとで開催いたしました。家族や地域の支え合い機能が低下していることが指摘されている昨今、町民が抱える問題は従前より複雑多様化しております。

そのような中で、生涯にわたって健康で明るく、生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを進めるため、日出町と社会福祉協議会、老人クラブ連合会の共催で大会を開催したところでございます。

大会では、ダイヤモンド婚と金婚の47組、福祉功労賞の13名、明るい子育て大賞の1家族、長寿健康賞の2団体を表彰し、日出町健康増進事業協力者に感謝状を贈呈いたしました。

また、地域のつながりを再構築し、誰もが個人として尊重され、人と人とのつながりを感じることができる「孤立ゼロ社会の実現」に向けて邁進することを誓い、大会宣言として採択されました。受賞された方々のますますの御健勝と御活躍を祈念申し上げる次第であります。

次に、日出町学校給食センターの建設予定地についてであります。

先般の全員協議会で御説明いたしましたが、昨年末に給食センターの建設予定地として保健福祉センター隣接のふれあいグラウンドをお示ししておりましたが、各地区説明会や地域住民との意見交換会を行う中で、ふれあいグラウンドはドクターヘリの離着陸場として利用の頻度が大きく増加していること、大規模災害時の防災拠点として残してほしいとの地元からの声があったこと、広く子育て世代から、子どもたちの遊び場として利用させてほしいとの声があったこと等から、グラウンドを残すことを選択肢として検討いたしました。

その後の協議では、学校給食センター建設検討委員会からの報告に立ち返り、評価順位第1位として報告のあった日出インター東側の地域が給食センター建設用地として最も優れた地域であることを再確認し、用地の位置や形状を工夫することで一定程度の経費を圧縮できる見通しが立ちましたので、ふれあいグラウンドを残し、日出インター東側の地域で土地を買収し、給食センター建設用地として確保することといたしました。

議員の皆様、そして町民の皆様に大変御心配をおかけいたしました。2021年度内の供用開始に向けて町一丸となって事業に取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いを申し上げます。

次に、平成30年度日米共同訓練についてであります。

11月19日、九州防衛局は日米共同訓練を12月7日から19日にかけて日出生台演習場、十文字原演習場で実施すると発表し、県庁で県と関係6市町の首長に対して訓練期間、訓練の内容、訓練に使用する主要装備等を含めた日米共同訓練の概要説明がありました。

それを受け、日出町では、11月20日に、役場内に日米共同訓練対策本部を設置し、情報の収集及び提供、連絡調整など、訓練に対応する体制の整備を行ったところです。

また、11月22日、大分県及び関係市町の首長による、アメリカ海兵隊との実動訓練を行わないことなどの要望書を防衛大臣、九州防衛局長、西部方面総監に提出してまいりました。

11月30日には、町の要請による地元説明会が南端地区公民館で行われ、西部方面総監部ほか関連部隊の幹部及び九州防衛局担当部署の幹部等により、日米共同訓練について十文字原演習場での訓練内容を中心に説明が行われました。

12月1日には、再度、オスプレイ等の訓練移転を今後、日出生台演習場等で行わないこと、訓練を実施するのであれば、治安・安全確保のために十分な措置を講じるよう防衛大臣、九州防衛局長、西部方面総監に要請書を提出したところでございます。

以上、甚だ簡単でございますが、行政報告とさせていただきます。

○議長（森 昭人君） これで、行政報告は終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告いたします。

日程第5. 委員長報告

○議長（森 昭人君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成30年第3回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 阿部真二君。阿部真二君。

○総務産業常任委員長（阿部 真二君） 総務産業常任委員会は、去る10月29日、全委員出席

のもと、町長以下担当課長の出席を求め、閉会中に所管各課の事務調査及び現地視察を行いましたので、その結果の御報告をさせていただきます。

また、11月14日から16日に、山形県天童市へふるさと納税について、宮城県亶理町へ防災及び復興状況についての視察研修を行ったので、あわせて御報告いたします。

まずはじめに、現地調査について御報告いたします。

公共下水道事業処理場整備計画案で、平成25年から平成41年までの整備費用が24億8,841万円となることを受け、実際の下水处理場で下水処理の仕組みや施設、設備の説明を聞き、維持管理には多額の経費が必要であり、より高効率かつ小型長寿命化が必要であると認識した。また、最初沈殿池やエアレーションタンク上面ふたの老朽化が進んでおり、早急な対応が必要であると感じたが、少子高齢化による利用者の減少も懸念されるため、財政負担を軽減するための工夫を利用者、行政が一つになって行うことが必要と考えます。

次に、所管各課の事務調査結果について御報告いたします。

まず、総務課より、平成31年4月1日採用職員試験の受験状況について、申込者数89名に対し、受験者数54名で、採用予定者は8名と報告がありました。

続いて、旧豊岡ふれあいセンター分館耐震診断結果の報告があり、耐震性は安全であるとのことでした。

委員より、この結果をもって使用許可をするのかの質問に対し、地区の方々と協議し、検討するとの回答でした。

続いて、日出町総合防災訓練について、昨年11月から取り組んできた結果、14機関、団体で計2,459名、町内44自治区で計2,004名の参加があり、実践型訓練ができたとの報告がありました。

委員より、何のための訓練だったのか、ある程度は自治区にお願いしなくてはならないのではとの質問に対し、今後検討していくとの回答でした。

次に、財政課より、町有地南端今畑地区の賃貸借契約について、京セラTCLソーラー合同会社と10月23日に、平成30年11月1日から工事期間中及び事業開始から20年間、賃貸借料年額884万9,030円で契約締結した。

なお、締結には、原状回復に要する費用相当額1億500万円を積み立てし、日出町がその預金に対し、質権を設定する。事業全体の設備等の撤去に要する費用、総額4億8千万円を毎年積み立て、撤去費以外には使用しない旨の誓約書を提出させたとのことでした。

続いて、平成31年度当初予算編成について、スケジュール、基本方針の説明がありました。内容としては、11月2日、予算編成方針説明会、12月7日、各課予算要求締め切り、12月14日から1月11日、財政課ヒアリング、1月30日から2月1日、町長ヒアリングのスケジ

ルールとのことです。基本方針については、第5次日出町総合計画に基づく政策の推進、これは既存事業の見直し・廃止を視野に入れる。中長期的に安定した財政運営の確立、これは財源の確保。喫緊の行政課題への的確な対応、これは優先順位をつけて予算要求を行う。委員会として、予算編成について住民の生活環境に大きな影響を及ぼさないように、よく考えて編成するように要望しました。

続いて、その他として、川崎工業団地西棟に進出予定の「匠」について、屋上防水は「匠」側で行うが、賃貸料で相殺し、建屋内のスケルトン工事は専決処分、耐震補強工事は町が行うとの報告があり、委員より、「匠」の売り上げ利益はの質問に対し、町では把握してないとの回答でした。

また、東棟のスケルトン工事を12月補正で予算計上し、来年度より入居できるようにするとの報告がありました。全体を通して委員より、事業を行う際に防衛省等の補助金はないか、他市町村等の例を調査するように要望したところでございます。

次に、政策推進課より、大分都市広域圏、公共施設の相互利用の促進における取り組みについて、公共施設案内予約システム導入を平成31年4月稼働に向けて行っており、大分都市広域圏に賛同している他市町の施設もネット予約が可能になるとの報告があり、委員より、紙で管理しているものは残るのか。また予約がダブることはないのかとの質問があり、紙は残るが、その都度、システムにインプットする方向で今後詰めていくとの返答でした。また利用料金について、将来的に個人口座からの引き落としになると思うが、団体の場合はどうなるのかの質問に対し、今後の課題として検討していくとの返答でした。

続いて、地方創生総合戦略交付金事業の検証について、日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略、地方創生関連交付金事業の検証を12月定例会の全員協議会で行いたいとの報告がありました。

続いて、平成30年度移住定住施策ふるさと納税の実績について報告がありました。移住定住施策では、ひじ暮らし体験住宅の利用実績が4月から9月で17名、延べ宿泊数は130泊、10月以降の予約状況が16名、延べ宿泊数は107泊である。また、空き家バンク登録件数が現在11件となっているとのことでした。

続いて、ふるさと納税の寄附金受納状況について、4月1日から10月15日までで222件、1,035万1千円となっており、前年同期比マイナス140件、マイナス336万9千円の状況で、平成30年11月2日正午から、楽天市場ふるさと納税サイトがオープンし、年末に向けて受納増加に期待したいとの報告がありました。

委員より、地域の産品でないコカ・コーラ製品は返礼品から外すのかとの質問に対し、総務省より具体的な指導はないため、外すことは考えていないとの返答でした。また、返礼率の統一は

できないかの質問に対し、30%以内で統一されてくるものと思われるとの返答でした。

その他、京セラTDLソーラーの事業計画を把握しているのかとの質問に対し、設置計画については提出されているが、事業計画は提出の義務がないので把握していないとの回答でした。また、HiCaLiの運用について、図書館の休館日は会議室などの施設も休みになるが、どうにかならないのかの質問に対し、総務課と調整検討しますとの返答でした。

次に、契約検査室より、平成30年度月別契約検査状況について報告があり、当初計画では10月までに99.6%の進捗予定に対し、63.5%とおくれているため、各原課に12月までに発注を行うように指導しているとのことでした。

次に、税務課より、平成31年度町県民税固定資産税の納付書について、平成30年度から前納報奨金廃止により、期別納付書4枚を送付したが、全期前納一括納付の場合、納付書4枚を提出し、処理することになり、会計課の領収押印が増加、また計算ミスを誘発する可能性がある。さらに財政面でもコンビニ収納による手数料、納付書1枚につき60円が大幅に増えた。また、金融機関でも1件当たり10円の手数料が必要になる動きがあるため、平成31年度の納付書から全期前納用納付書プラス期別納付書4枚を送付することにするとの報告がありました。

続いて、地籍調査の登記状況について、平成30年5月に内野地区及び青津山の登録完了、同9月に宗行地区及び則次地区の登録完了により、平成31年度から追加課税を反映するとの報告がありました。

また、今後の予定として、平成31年3月ごろに東小深江、西小深江、同8月ごろに小浦、影平の一部が登記完了の見込みです。

次に、生活環境課より、日出港周辺の臭気問題について、10月2日に発生したため、対象事業所に出向き確認したところ、3年前の約束が守られていなかった。確認内容対策など、12月定例会で報告するとのことでした。

その他、委員より、公道などの動物の遺体回収はどれくらい発生しているのかの質問に対し、年間約70件との返答でした。

次に、商工観光課より、「ザビエルの道ウオーキング大会」が、10月21日に開催され、Aコース20キロ、121名、Bコース10キロ、170名、Cコース5キロ、125名、参加者合計416名の参加があったと報告がありました。

続いて、ひじまち国民文化祭こども文化の祭典について、11月17日10時から、中央公民館ホールで子どもミュージカル「サンタ会議」が行われるとの案内がありました。また、同日、「Mir☆Eve！（ミライブ）」が暁谷駅北口周辺で11時から16時に開催される、また13時よりセレモニー、ケロポンズコンサート、ハローキティグリーティングが開催されるので参加要請がありました。

その他、ひるなかモンブランコンサートが11月18日14時から、中央公民館、ひじアートミュージアム3244が11月8日から11月25日に、交流広場HiCaLi、町立図書館で開催されるとの報告がありました。

委員より、この文化の祭典、「Mira☆Eve！（ミライベ）」の駐車場はとの質問に対し、職員、大田公園、中央公民館の駐車場を確保しているとの返答でした。

また、ケロポンズコンサートは特別な広報はしているのかの質問に対し、DVDを作成し、保育園、幼稚園に配付し、ダンスの練習をお願いしているとの返答でした。

さらに、ミュージックビデオの利用について契約を結んでいるのかの質問に対し、今後著作権を含め契約するとの返答でした。

その他、川崎工業団地の活用状況について、東棟の利用はどうなっているの質問があり、来年5月ごろからホックスが事業拡大し、入居する予定とのことでした。

また、「匠」の業績把握はとの質問に対し、把握はしていないが、今後調査するとの返答でした。

委員会として、業績を毎年把握するよう要望したところです。

次に、農林水産課より、後継牛緊急確保特別対策事業の報告があり、予定される増頭数が13頭で、歳出額89万7千円、うち県補助59万8千円とのことでした。

その他の報告については、12月定例会で報告するとのことでした。

次に、都市建設課より、町営住宅家賃算定誤りについて、議会全員協議会報告からの経緯説明があり、9月26日より職員2人組2班体制で戸別訪問を実施し、対象者221世帯に対して10月22日現在199世帯、90%訪問済みとの報告がありました。

入居者の反応として、10月分からの正しい家賃については対応いただける様子であるが、過去の追徴分については難色を示す方もいる。今後も引き続きお願いをしていくとのことでした。

続いて、大分県建設業協会日出支部による奉仕活動について、10月24日に町道神田柏川線、黒岩公園周辺部の支障木の伐採を行ってもらったと報告がありました。

その他として、糸ヶ浜パークゴルフ会員の更新を正確に実施するように要望したところです。

次に、上下水道課より、日出町浄化センター施設配置図、公共下水道事業処理場整備計画案、公共下水道管路施設劣化調査作業標準図、公共下水道管路施設劣化調査位置図の説明があり、委員より、長寿命計画、調査策定、平成29年度から31年度に6,120万円となっているが、こんなにかかるのかの質問に対し、管路調査診断には費用が必要との返答でした。

また、下水道事業団の提案を拒んだことがあるのかの質問に対して、拒んだことはないが、他市町村にはついている施設であり、臭気対策にもなるとの返答でした。

委員会として、今年度導入する濃縮設備の必要性がわかるようにすること、また事業団に物が

申せる自治体になるように要望したところです。

最後に、行政視察研修内容について報告いたします。

去る11月14日から16日にかけて、山形県天童市天童市役所にてふるさと納税について、宮城県亘理町亘理町役場にて防災対策と復興状況について行政視察を行ったので御報告いたします。

なお、詳細についてはお手元に配付しています総務産業常任委員会行政視察研修報告書を御一読ください。

山形県天童市は、山形県東部に位置し、面積113.01平方キロメートル、人口約6万2千人の市で、将棋駒と温泉の町として知られ、近年は山形市のベッドタウンとして発展しています。県内人口5位であり、東洋経済の住みよさランキング2018で全国34位となっています。天童市は、ふるさと納税制度を活用するための制度設計を市の認知度の向上、地場産業の振興を目的とし、揺るぎない信念のもと、知恵を使った取り組みを続けることにより、フルーツ産業の経営安定化や障がい者の自立と就業の機会の確保、観光誘客の手段として活用するなど、この制度の可能性を拓けており、さすが先進地だと痛感しました。

また、カタログは季節で産物が変わるため、春夏版と秋冬版の2回発行し、返礼品の価格は取り扱い事業者に対し、1万円の納税であれば3千円を出せるものとして依頼しており、うまい設定の仕方だと思いました。ただ、ふるさと納税が好評だといっても新規就農者はふえておらず、一次産業を取り巻く環境はどの自治体でも共通の課題だと感じました。

次に、亘理町は、宮城県南部の太平洋沿岸、阿武隈川の河口に位置し、面積73.60平方キロメートル、人口約3万3千人の町で、温暖な気候を利用しての果樹・花卉栽培が盛んであり、特にイチゴは名産である。郷土料理のはらこめしは近年農山漁村の郷土料理百選に選出された。

隣接する山元町とは、2002年、平成14年11月から合併に向けて協議が行われたが決裂し、県から代替案として、名取市、岩沼市、亘理町、山元町を合併する案が示されたが、人口規模のみを基準とする案であったため、具体的な協議が行われることはなかった。

亘理町では、友好都市ということもあり、到着時に町長、議長以下、全職員の心からの記憶に残る大歓迎を受け、何か申しわけない感がありましたが、実際の研修では生々しい震災の概要から、地域防災計画の見直し、我々の訓練とは雲泥の差と思われる避難訓練内容など、防災意識の高さに圧倒された。

しかしながら、現地の復興状況を目の当たりにし、まだまだ復興は道半ば、これからが正念場だと感じた。ここで学んだことを本町の防災計画に反映し、町民の安全安心なまちづくりに少しでも貢献したいと思います。

以上、総務産業常任委員会の所管各課の事務調査並びに現地調査結果の報告及び行政視察研修

の報告とさせていただきます。

○議長（森 昭人君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 上野満君。上野満君。

○福祉文教常任委員長（上野 満君） 福祉文教常任委員会の報告をいたします。

当委員会は、閉会中の11月16日に、委員全員出席のもと、町長、教育長、担当課長の出席をいただき、委員会を開催いたしました。

所管各課の事務調査の報告をいたします。

教育総務課からは、南端小中学校の今後のあり方について、また日出町学校給食センター建設計画について報告がありました。

委員から、給食センター建設調整会議のメンバーはとの質問には、教育総務課、財政課、都市建設課、契約検査室、農業委員会の職員との回答でした。

学校教育課からは、いじめ認知件数の推移についての説明があり、委員から、いじめの件数の調査方法はとの質問には、本人、保護者からの訴え、年2回のアンケート結果を含む教員の発見との回答でした。

生涯学習課からは、生涯学習事業について、また社会体育事業について報告があり、ひじまち国民文化祭の世界のヒョウタン展では、来訪者は約5千人で、瀧廉太郎記念音楽祭では、用意した250枚のチケットは完売したとのことでした。

日出町立図書館からは、テーマ展示企画、図書館見学受け入れ、読書週間講演会、国民文化祭、ひじアートミュージアム3244、図書館ミニコンサートについて、また今後の行事予定について報告がありました。

文化振興室からは、文化振興室事業実施報告、賀来家寄託帆足萬里史料の購入についての報告があり、学校給食センターからは、平成30年度学校給食アンケートの結果と考察について報告がありました。

住民課からは、人権擁護委員の増員について説明があり、福祉対策課からは、日出町保健福祉センターの修繕について説明がありました。

子育て支援課からは、大神地区における放課後児童クラブに関するニーズ等の調査結果について、次期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズの調査及び子ども・子育て会議の開催について、日出町家事育児支援事業について、日出町子どもの居場所づくり推進事業についての報告がありました。

委員から、早急に児童クラブの運営マニュアルを作成し運営できないかとの質問には、12月にクラブの代表者に集まってもらい、意見を聞いて、なるべく早い時期に運営マニュアルを作成し、運用できるように努力したいとの回答でした。

健康増進課からは、在宅医療、介護連携推進事業の取り組みについて報告があり、監査事務局

からは、今年度の行政監査は川崎小学校、川崎幼稚園、大神小学校、大神幼稚園、また財政援助団体の監査は観光協会、遺族会の監査を実施する予定であるとの報告がありました。

続きまして、11月7日から9日までの3日間の日程で行政視察研修を行いましたので、その概要を報告いたします。

まず、徳島県三好市で休廃校の活用について研修を行いました。

三好市は、平成18年に6町村が合併し誕生しました。その後、少子化、過疎化による児童数の減少から、学校の統廃合が進み、休廃校がふえたため、平成25年度から休廃校の活用を通じた雇用の創出や地域の活性化を図ってきました。現在、27校の休廃校のうち8校が民間活用校となっています。事業内容は、高齢者福祉サービス、農産物加工販売、菓子製造所、物流センター、民泊、デザイン事務所、カフェとさまざまです。活用事業の採択には地元地区に決定権があり、地域の意見を重要視している点が印象的でした。

次に、兵庫県小野市で給食センターの建設運営について研修を実施しました。

小野市の新学校給食センターは、平成30年4月に開設され、敷地面積5,640平方メートル、鉄骨づくり一部2階建てで1階部分1,850平方メートル、2階部分250平方メートル、調理能力は5,200食で、小学校8校、中学校4校、特別支援学校1校、幼稚園2園に配送しています。建設にかかった期間は約2年5カ月で、経費は約11億円となっています。

なお、詳細につきましては、お手元に配付しています報告書をごらんください。

以上、甚だ簡単ですが、閉会中の福祉文教常任委員会の報告といたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会活性化特別委員会委員長 川西求一君。川西求一君。

○議会活性化特別委員長（川西 求一君） 議会活性化特別委員会は、閉会中の11月1日、中津市に議会中継について視察を行い、かつ11月12日、委員会を開催いたしましたので、その概要を御報告いたします。

11月1日に視察を行いました中津市の議会中継につきましては、議会の公開度及び市民の参加度を高めることを目的に、平成23年6月議会よりインターネット及びケーブルテレビにより、本会議場における模様についてライブ中継と録画により配信を行ってまいりました。

特徴といたしましては、議事録を作成する上での会議録検索システムとあわせ、インターネット、スマートフォンで配信作業を行っているとのことでした。

本町の懸案の現在の議場施設、アナログ式カメラなどについては、中津市においては、デジタル対応として議場改修を約2,160万円をあらかじめ行っていたので、初期導入費用としては約576万円、現在年間補修費用として154万円程度とのことでした。また、議場や事務局サイドの作業などについて、現地にて説明を受け、視察を行ったところです。

これらを持ち帰り、議会中継についてを中心に、11月12日、委員会を開催いたしました。

委員会では、本町の議場機器の有効利用、それから議場にデジタルカメラ2台を設置することにより、インターネットの配信、またそれまでの編集作業工程などの実証を今議会で議会みずからが行ってはその意見集約ができましたので、今議会において最後の試行といたしまして本会議1日分の収録を実施することといたしました。

議員みずからによる配信に至るまでの撮影や編集作業などを経験することにより、今後の議会中継における費用の削減等に反映していきたいと思っております。何とぞ各議員の皆様の御協力をお願いいたします。

また、議員の欠席届と休会についての議会会議規則改正については、本議会会期内において御説明を行い、審議をお願いすることといたしました。

以上、甚だ簡単ではありますが、閉会中の議会活性化特別委員会の報告といたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 池田淳子君。池田淳子君。

○議会報編集特別委員長（池田 淳子君） 議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、閉会中の10月11日と17日に委員会を開催し、9月議会の内容を報告する日出町議会だより114号の編集を行い、10月30日に各区長に配付をしたところです。

続きまして、当委員会は、10月31日から11月2日まで、埼玉県小川町と寄居町へ議会報編集の取り組みについて行政視察研修を行いましたので、概要を御報告申し上げます。

お手元に資料を配付してありますので、そちらも御参照ください。

読みやすく親しみやすい議会だよりを目指し、113号から大きく紙面をリニューアルしましたが、まだまだ見よう見まねの手探り状態です。全体のレイアウトや構成、編集方針などについて、コンクール等で受賞経験のある両町の事例は、日出町においても大いに参考になると考え、研修地といたしました。

小川町は埼玉県の中部に位置し、周囲を緑豊かな里、秩父の山々に囲まれ、人口は2万9,891人を数えます。

「おがわざかい」と題した議会だよりは、3年前の第79号より大幅なリニューアルをしました。町が発行する広報誌との差別化を図るため、まず表紙のデザインを大胆に変え、若い人にも手にとってもらえるよう斬新なデザインとしたそうです。和紙をモチーフとした表紙は、毎回色を変えるなど工夫が見られました。また、多様な色覚を持つ方にも読みやすくなるよう、色の使い方にも配慮しているとのことでした。

議会だよりの内容としては、結果のみを伝えるのではなく、結果に至るまでをQ&A方式で掲載しており、一般質問は2ページに3名分を掲載していて、難しい行政用語などには解説をつけております。

小川町の議会だよりは、全国町村議会議長会広報コンクールにおいて、28年度は編集デザイン部門で奨励賞を、29年度は優良賞第5位を獲得しています。紙面リニューアル後に賞を獲得していることから、ある一定の成果を出し、評価を得ていることは間違いないと思います。

寄居町は、埼玉県北西部、東京都心から70キロメートル圏にあり、荒川の中流域長瀬のすぐ下流に位置し、人口は3万3,015人を数えます。

議会だよりの編集方針は、町の広報は結果を知らせるものと捉えています。また、読んでもらえる議会だよりは、表紙が重要と考え、テーマを決め、シリーズ化しており、その写真は委員が持ち寄ったものの中から選考するそうです。表紙は、テーマと連動させることも意識しておりました。表紙の写真の構成にもこだわり、何らかのコンセプトを持って構成しています。

第90号でいえば、だれがどの位置に立ち、どの角度から撮影するかまでを事前に絵コンテでイメージしてから撮影をしていました。

県や全国の研修には積極的に参加し、全国町村議会議長会広報コンクールには、平成20年度から出展をしており、毎年のように受賞し、29年度は最優秀賞第1位を受賞されました。コンクールの評価は、紙面の見た目だけではなく、議会本来の活動ができているかが評価されていると思うとのことでした。よりよい議会だよりのために相当なエネルギーを使っていることがうかがえました。

今回、コンクール受賞常連の先進地で研修をさせていただき、紙面だけでなく、編集作業に取り組む姿勢や熱意を学ぶことができました。両町とも読んでもらえるための工夫に注力していることが印象的でした。

日出町の議会だよりは、まだ改善途中ではありますが、写真を多く使い、特集記事の掲載など、変化をもたらすことができてきましたが、今後も委員一同研さんを重ね、読んでもらえる議会だよりを目指し編集に取り組んでいきたいと思います。

以上、甚だ簡単ではございますが、議会報編集特別委員会の報告といたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会運営委員会委員長 熊谷健作君。熊谷健作君。

○議会運営委員長（熊谷 健作君） それでは、議会運営委員会から御報告を申し上げます。

議会運営委員会は、10月23日から25日にかけて、岩手県紫波町、陸前高田市へ視察研修を実行しましたので、その御報告を申し上げます。

まず、研修目的であります。私たち日出町議会も前任期より本格的な議会改革に取り組んできたところではありますが、他の先進的な議会に比べると、まだ道半ばであると認識しています。

そこで、今回は東北地方で有数の改革を遂げてきていて、視察も多い紫波町議会に学び、さらにけんさんを重ねていく上での目標の一つとするために行いました。

研修内容につきましては、まず1点目、議会モニター制度を活用しておりまして、町民の中か

ら男性6名、女性2名を選任し、モニターとして議長が委嘱しています。定数は10人以内で任期は2年、全くのボランティアです。モニターは本会議や委員会等を傍聴し、それらについて意見を文書で提出するようにしています。議会を傍聴できない会社員等は、議会中継を見ることで傍聴にかえています。そして議員と年数回意見交換を行っています。執行部への反問権の付与、紫波町議会反問及び文書質問の実施に関する規定を制定し、町長等に議員の質問の趣旨や根拠を確認する場合や議員の考え方を確認する場合に反問を許可しています。

議員間の自由討議、これを行う必要性としては、議決責任を果たすために、その結論に至った説明を行うことです。そのためには執行部への質疑、審査だけでは不十分で、その後議員だけで討議し、結果について説明できるようにしなければならない。以上の理由によるものとしています。

システムとしては、本会議の前に議案を事前調査し、執行部から内容説明を受けた後、分科会で論点を整理し、質疑を行います。分科会で協議した附帯意見等を受け、全体で自由討論を行います。概略は以上の流れです。

議会報告会、議会活動について自治会ごとに報告会を毎年実施しています。4名構成の4班で年20回以上目標としています。昨年度は15会場で計222人の参加者でした。告知は、議会だより、ホームページ、回覧板、有線放送で行います。終了後は、班の代表者が議長に文書で報告するようにしています。議長は其中で重要な事項は町長に文書で回答を求めることとなっています。

通年議会の導入、1年を1会期とする通年議会を平成23年から実施しています。通年議会の利点として、緊急を要する事案が起こった場合に、議長の判断で議員に通知して開くことができます。閉会中の委員会活動が議会の議決を得なくてもできると同時に、請願や陳情も議会運営委員会の了解のもと、定例会を待たずに審査できる等です。この結果として常任委員会の活動が活発になっています。ただ、損害賠償を支払うことの議決等の専決処分の取り扱いをどうするか等の課題についても議論が必要です。

以上が研修した内容ですが、つけ加えますと、当町はPPP方式による市街地整備を行ったことで視察の多い町でもあります。研修終了後に事務局の御案内で各種施設や駅舎等を時間をかけて視察いたしました。

この研修のまとめでございますが、紫波町議会の改革や活性化は、事前の予想以上に進んでいるというのが実感でした。議会モニターは困難であろうと思われる若い世代の人を選任委嘱し、何度も説明や意見交換を行っています。事務局職員も尽力されてのことだと推察されます。ただし、比較的穏やかな意見を言われる方たちだけを人選されることのないようにすることが肝要と考えます。また、意見交換会を広報委員会が主管するという点も疑問でした。

反問権は日出町議会でも認めています、質問の内容が不明な点だけに絞っている、考え方まで踏み込んでいいのではと感じました。議員間の自由討論はなかなか難しい課題とかねてから思っていました、今回の説明を聞くと、委員長報告の材料とする点では我々の委員会とそう遠いものではなく、時間と手間をかければ近づけるのではと思いました。ただ、その実現のためには、議員の資質向上や研さんをさらに重ねることが必要なのは言うまでもありません。

議会報告会は、これまでもどの議会にお聞きしても苦勞されているようですが、紫波町議会では自治会ごとという細かな開催が注目されます。会場も畳の和間ばかりで、文字通り膝を突き合わせての報告会が想像されます。また、終了後の議会の対応についても大いに学ぶところがあり、我々もぜひ取り入れるべきだと思いました。

通年議会についても、我々が基本条例を制定する際、視野にはありましたが、時期尚早として断念した経緯があります。しかし、各地の議会の動向やその利点を考えると、早い時期に導入すべきではと考えるようになりました。

以上、今回の研修を契機にすぐに取り入れられる事項を手始めに、加速度を挙げて改革にまい進していかなければならないと感じますが、それには議員各位の協力が必要です。そして、何よりも重要なのは、議長の力強い指導力を発揮してもらうことです。議長、よろしくお願いいたします。

次に、陸前高田市の研修について御報告を申し上げます。

まず研修目的は、日出町は災害の少ない町として推移してきていますが、何本もの活断層が近くを通り、30年以内に南海トラフが起きることが明言されている中で、災害への対応は議会としても喫緊の課題であります。これまでも本会議や委員会等で議論、検討してきていますが、今回未曾有の体験をされた陸前高田市に震災時の状況、災害への備えや復興の道のり等を学び、我々の糧とするために訪問しました。

次に研修内容です。まず陸前高田市に入っの印象は、思った以上に復興が進んでいないことでした。震災から7年が経過して多額の予算がつぎ込まれ、防潮堤や宅地のかさ上げ等の工事が進捗していましたが、市の庁舎はまだプレハブの仮庁舎で、その周辺も復興中でした。それでも市民の方に聞くと、以前より工事の関係者はかなり減ってきているようで、現状を見ると、本当の復興に向けて早期完了への思いを強くしたところでは。

研修の対応は、当時の経験をした福田議運委員長がしてくれました。後で聞いたところ、震災で市役所に勤めていた奥様を亡くされたそうで、語られる説明にとっても重みがあり、これまでの研修と違った雰囲気となりました。

震災時の状況としては、委員会を開催中であつたが、すぐに散会し、議員も庁舎内に残った者、自宅へ戻った者と別れたそうです。その自宅に戻られた中で2名の議員が避難誘導中に津波で亡

くなられたとのことでした。定例議会も自然閉会し、市議選も特例で6カ月延期されました。市の職員は、非常勤も含めて111名が亡くなり、市議会議長も震災後の対応の過労で病になり亡くなっています。

震災後の議員の動きは、3分の1が地域も自宅も被災してなく、ただ地域が被災したり、みずからが被災者となっています。被災のなかった議員はどうしていいかわからず、身動きがとれなかったそうです。地域が被災した議員は、地区コミュニティーの中心となって救援活動に当たったり、消防団員として活動しました。被災者となった議員は、避難所にて中心的な活動をしたということでした。しかし、避難した住民からは、議員が何をやっているのか一向に見えない。避難所周りもしないなどの批判があったそうです。そうした議会として災害への備えを怠り、有効な活動ができなかったとの反省から、災害対策会議設置要綱、災害対策行動マニュアルを制定しました。その概要は、行動基準を初動期、中期、後期に分け、自身の安否、安全確保、地域や避難所の情報収集、市の災害本部との情報共有や連携を密にすることとなっています。

また、課題としては、連絡方法の確立、発災時の参集方法、議会閉会時の対応等であります。ここでも有効なのは通年議会です。ほかにも住民からの要望を行政につなぐ際に、何が優先されるべきかの判断が重要であるとの意見には深く考えさせられました。

この研修のまとめとしましては、福田議員の体験者ならではの貴重な話を聞いた研修でありました。ほとんど包み隠さずに話していただき、防災無線で津波の高さを誤り、かえって混乱を招いたこと、新庁舎の建設場所で市長と議会で見解が分かれ、再議による特別議決で決定したこと等を説明してくれました。復興の途中にもさまざまな事業、事案で苦労されているのが実感できました。我々が発災時に議会や議員としてどう行動するべきか、どう町民の力や支えになれるかを考える新たな機会となりました。議員が行動している姿を見せるだけでも住民にとって勇気づけられるという言葉が印象的でした。

また、これからが大事なところですが、議員が一部の住民や地域の要望を我田引水に行政に押し込むことのないよう、日ごろから議員間で話し合っていくことが重要であると感じました。

今回の研修を生かし、さらなる防災への取り組みを町執行部とともに行っていきたいと決意いたしました。

以上で報告を終わります。

○議長（森 昭人君） 以上で、委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（森 昭人君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第 6. 議案第 5 4 号

日程第 7. 議案第 5 5 号

日程第 8. 議案第 5 6 号

日程第 9. 議案第 5 7 号

日程第 1 0. 議案第 5 8 号

日程第 1 1. 議案第 5 9 号

日程第 1 2. 議案第 6 0 号

日程第 1 3. 議案第 6 1 号

日程第 1 4. 議案第 6 2 号

日程第 1 5. 議案第 6 3 号

日程第 1 6. 議案第 6 4 号

日程第 1 7. 議案第 6 5 号

日程第 1 8. 議案第 6 6 号

日程第 1 9. 議案第 6 7 号

日程第 2 0. 議案第 6 8 号

日程第 2 1. 議案第 6 9 号

日程第 2 2. 議案第 7 0 号

日程第 2 3. 議案第 7 1 号

日程第 2 4. 議案第 7 2 号

日程第 2 5. 議案第 7 3 号

日程第 2 6. 議案第 7 4 号

日程第 2 7. 議案第 7 5 号

日程第28. 議案第76号

日程第29. 議案第77号

日程第30. 同意第5号

日程第31. 報告第10号

提案理由の説明

○議長（森 昭人君） 日程第6、議案第54号平成30年度日出町一般会計補正予算（第3号）についてから、日程第31、報告第10号工事委託に関する協定の変更についてまでの議案24件、同意1件、報告1件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、議案24件、同意1件、報告1件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第54号平成30年度日出町一般会計補正予算（第3号）についてであります。

補正します額は1億5,333万7千円で、補正後の予算総額は101億2,325万円となります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、総務費では、川崎工業団地振興事業における西棟耐震改修工事費等を計上し、ふるさと寄附金事業に係る一般報償費を追加計上しております。

民生費では、国民年金システム処理結果一覧表電子媒体化業務委託料を計上し、平成29年度補助事業の精算に伴う国庫及び県への返納金を計上しております。

衛生費では、子ども医療費助成事業における医療費支払委託料を追加計上しております。

農林水産業費では、農村地域防災減災事業におけるハザードマップ作成委託料を計上しております。

土木費では、町営住宅修繕料を追加計上し、危険ブロック塀等除去事業補助金を計上しております。

消防費では、杵築速見消防組合における指令回線ネットワークシステム変更委託のための杵築速見消防組合負担金を追加計上しております。

教育費では、小学校、中学校、幼稚園の危険ブロック塀修繕料を追加計上し、学校給食センター建設事業に係る用地造成測量設計費を追加計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、事業実施に伴う国県支出金、町債、財政調整基金等、基金からの繰入金により財源措置しております。

また、債務負担行為といたしまして、町指定ごみ袋購入費を計上しております。

次に、議案第55号平成30年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）についてであります。

非常勤職員の退職に伴う引き継ぎ期間に要する経費等の一般管理費を計上しております。

次に、議案第56号日出町行財政改革審議会条例の制定についてであります。

行財政改革に関する大綱や推進計画の策定など、行財政改革に関する事項について調査及び審議する審議会を設置するため、条例を制定するものであります。

次に、議案第57号日出町下水道事業の地方公営企業化に伴う関係条例の整備についてであります。

日出町公共下水道事業、漁業集落排水事業及び農業集落排水事業に、平成31年4月1日より、地方公営企業法を全部適用させることに伴い、関係する条例について所要の改正を行うものであります。

次に、議案第58号各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正についてであります。

町職員が各種委員会の委員を兼ねる場合において、正規の勤務時間外に委員の職務に従事した場合に報酬を支給できるようにするために、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第59号職員の給与に関する条例等の一部改正についてであります。

人事院勧告及び大分県人事委員会勧告に基づき、国等の給与改定等の事情を考慮して、職員等の給与等を改正するため関係する条例について所要の改正を行うものであります。

次に、議案第60号日出町国民健康保険財政調整基金条例の一部改正についてであります。

国民健康保険法の一部改正に伴い、財政調整基金の一時繰りかえ使用及び処分についての規定を見直す必要があることから、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第61号日出町老人介護者手当支給条例の一部改正についてであります。

介護保険法との整合性を図り、事務手続を見直すため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第62号日出町水道事業給水条例の一部改正についてであります。

水道法施行令の改正に伴い、同条例中の資格要件を定める内容について、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第63号日出町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についてであります。

日出町保健福祉センターの町民等に供する施設について規定し、その使用方法について整備するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第64号日出町の公の施設を大分市の住民が利用することに関する協議についてから、議案第70号日出町の公の施設を由布市の住民が利用することに関する協議についてまで、についてであります。

地方自治法第244条の3第3項の規定に基づき、日出町の公の施設の一部を、大分都市広域圏を構成する大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市及び由布市の住民が利用することについて、関係する自治体が協議したいので、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第71号大分市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議についてから、議案第77号由布市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議についてまで、についてであります。

地方自治法第244条の3第3項の規定に基づき、大分都市広域圏を構成する大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市及び由布市の公の施設の一部を日出町の住民が利用することについて関係する自治体と協議したいので、議会の議決を求めるものであります。

次に、同意第5号日出町固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

日出町固定資産評価審査委員会委員、河野房雄氏の任期が、平成31年2月24日で満了するため、引き続き同氏を選任したいので、議会の同意を求めるものでございます。

次に、報告第10号工事委託に関する協定の変更についてであります。

日出町公共下水道日出町浄化センターの建設工事委託に関する協定について、工事内容の積算に伴い、協定金額が減額となりましたので、地方自治法第180条第1項の規定により、協定額の変更を専決処分いたしましたので、同条第2項の規定により報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではございますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして御説明を申し上げました。何とぞ慎重な御審議を賜りまして御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（森 昭人君） 提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（森 昭人君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

これで散会します。御苦労さまでした。

午前11時27分散会
